



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

上場会社名 株式会社パイロットコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7846 URL https://www.pilot.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 伊藤 秀
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 寺田 治信 (TEL) 03-3538-3700
 四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	88,251	4.9	14,826	△5.8	17,305	△4.3	11,988	△4.9
2022年12月期第3四半期	84,106	11.1	15,737	7.8	18,079	17.9	12,603	19.2

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 16,678百万円(△3.8%) 2022年12月期第3四半期 17,334百万円(42.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	303.91	—
2022年12月期第3四半期	319.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	166,182	131,053	77.7
2022年12月期	156,542	117,989	74.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 129,084百万円 2022年12月期 116,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2023年12月期	—	50.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	1.9	22,000	3.6	23,000	1.6	16,000	1.4	405.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 3 Q	41,814,400株	2022年12月期	41,814,400株
② 期末自己株式数	2023年12月期 3 Q	2,364,966株	2022年12月期	2,364,966株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 3 Q	39,449,434株	2022年12月期 3 Q	39,447,317株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2023年12月期 3 Q 18,827株、2022年12月期 18,827株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております (2023年12月期 3 Q 18,827株、2022年12月期 3 Q 11,779株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料 3 ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトにて掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年9月30日)における経済環境は、国内においては新型コロナウイルス感染症に伴う各種制限が撤廃され、外国人観光客や行動制限のないイベントの増加等もみられ、社会経済活動は概ねコロナ禍以前に回復しました。反面、国内外において、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰による物価の高止まりや世界的な金融引き締めに伴う為替変動等が、各国の景気に影響を及ぼし消費活動が停滞する等、先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境の下、当社グループにおきましては、国内では訪日客の増加や消費者の購買マインドの回復により市場は堅調に推移しましたが、海外では、新興国の伸長はあるものの、物価の高騰を受け、先進国の主要マーケットの需要は弱含みで推移いたしました。また、為替につきましては、米ドル及びユーロに対する円安がそれぞれ進みました。

この結果、当期間の連結売上高は882億51百万円(前年同期比104.9%)となりました。国内外別では、国内市場における連結売上高は198億14百万円(前年同期比109.1%)、海外市場における連結売上高は684億37百万円(前年同期比103.8%)となりました。中期経営計画に基づく事業別実績では、筆記具事業における連結売上高は800億59百万円(前年同期比104.7%)、非筆記具事業における連結売上高は81億92百万円(前年同期比107.4%)となりました。

また、損益につきましては連結営業利益が148億26百万円(前年同期比94.2%)、連結経常利益が173億5百万円(前年同期比95.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は119億88百万円(前年同期比95.1%)となりました。

(参考URL 当社中期経営計画 <https://www.pilot.co.jp/company/ir/management/plan.html>)

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

なお、セグメント利益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

また、第1四半期連結会計期間より、管理体制の変更に伴い報告セグメントの区分方法を見直し、従来「アジア」の区分に含めていた連結子会社であるPilot Pen Australia Pty. Ltd.を「欧州」の区分に含めております。前年同四半期連結累計期間との比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(日本セグメント)

ステイショナリー用品事業においては、日本では、インバウンドやノベルティ需要の回復が進み、販売ターゲットを絞った限定商品やアパレルやコスメブランド等とのコラボ商品が話題を集めました。また、当期当社グループとなった、手帳・ノート類等のデザインステイショナリーの企画・製造を行う株式会社マークスグループ・ホールディングスの売上も貢献しました。輸出においては、フィリピン等のアセアン諸国やインドを中心に売上が伸びました。

玩具事業においては、主力商品である「メルちゃん」シリーズや「おふろのおもちゃ」シリーズが、物価高騰による玩具業界全般の伸び悩みもあり、減収となりました。

産業資材・その他事業においては、産業資材事業の主力のセラミック製品が半導体市況を受けて苦戦しましたが、その他事業でマークス商品が売上に貢献しました。

利益面では、連結子会社向けの売上高減少と生産数量減少による原価率の上昇に加え、将来成長のための積極的な広告投資や人材投資を実施したことに伴う販管費等の増加により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は272億26百万円(前年同期比113.3%)、セグメント利益は96億10百万円(前年同期比58.5%)となりました。

また、当セグメントにおける主要な事業の売上高につきましては、ステイショナリー用品事業は227億99百万円(前年同期比115.0%)となり、玩具事業は22億44百万円(前年同期比85.9%)、産業資材・その他事業は21億82百万円(前年同期比137.2%)となりました。なお、ステイショナリー用品事業の内訳は、筆記具が202億37百万円(前年同期比113.9%)、文具・その他が25億62百万円(前年同期比124.3%)となりました。

(米州セグメント)

米州地域につきましては、米国市場においてゲルインキボールペン市場でトップシェアを維持している「G-2 (ジーツー)」や「フリクション」シリーズの販売が堅調に推移し、ブラジル市場においてはホワイトボード用マーカー「Vボードマスター」を中心に伸長が続いています。さらに、円安の影響もあり増収となりましたが、物価高騰による労務費や広告費等の販管費の増加のため、減益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は270億22百万円(前年同期比110.3%)、セグメント利益は6億28百万円(前年同期比78.1%)となりました。

(欧州セグメント)

欧州地域につきましては、「フリクション」シリーズを中心に展開しておりますが、物価高騰を受けて低調な市況が続いているため、円安の影響はありましたが、減収となりました。また、労務費等の販管費増加もあり、減益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は190億51百万円(前年同期比94.2%)、セグメント利益は16億22百万円(前年同期比86.0%)となりました。

(アジアセグメント)

アジア地域につきましては、日本製の細書きの筆記具の需要が高く、ゲルインキボールペン「P-500」や「ジュース」シリーズ等を中心に展開しています。中国において、市場の回復に時間がかかっていることから、その他の国において概ね好調に推移したにもかかわらず、減収減益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は149億52百万円(前年同期比97.4%)、セグメント利益は7億49百万円(前年同期比79.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比96億39百万円増加し、1,661億82百万円となりました。

流動資産は、44億77百万円増加し1,110億83百万円となり、固定資産は、51億62百万円増加し550億98百万円となりました。

流動資産につきましては、「受取手形及び売掛金」が18億89百万円、棚卸資産(「商品及び製品」、「仕掛品」、「原材料及び貯蔵品」)が45億33百万円それぞれ増加した一方、「現金及び預金」が21億23百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末比34億23百万円減少し、351億29百万円となりました。

流動負債は、43億78百万円減少し324億13百万円となり、固定負債は、9億55百万円増加し27億15百万円となりました。

流動負債につきましては、「賞与引当金」が10億42百万円、「その他」が22億24百万円それぞれ増加した一方、「支払手形及び買掛金」が23億75百万円、「短期借入金」が22億21百万円、「未払法人税等」が36億15百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末比130億63百万円増加し、1,310億53百万円となりました。これにつきましては、「利益剰余金」が80億42百万円、「為替換算調整勘定」が38億4百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に公表しました連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,128	44,005
受取手形及び売掛金	22,738	24,628
商品及び製品	21,354	24,605
仕掛品	6,922	8,006
原材料及び貯蔵品	4,558	4,757
その他	4,987	5,192
貸倒引当金	△84	△111
流動資産合計	106,606	111,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,243	30,454
減価償却累計額	△14,956	△15,946
建物及び構築物（純額）	12,286	14,507
機械装置及び運搬具	37,266	39,684
減価償却累計額	△31,579	△32,864
機械装置及び運搬具（純額）	5,687	6,820
その他	20,221	21,067
減価償却累計額	△17,596	△18,060
その他（純額）	2,624	3,007
土地	7,549	7,641
建設仮勘定	2,874	4,005
有形固定資産合計	31,023	35,983
無形固定資産		
借地権	5,355	5,355
その他	913	958
無形固定資産合計	6,268	6,313
投資その他の資産		
投資有価証券	5,728	6,301
繰延税金資産	4,421	3,720
退職給付に係る資産	1,635	1,862
その他	891	949
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	12,643	12,802
固定資産合計	49,936	55,098
資産合計	156,542	166,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,354	11,979
短期借入金	4,441	2,220
1年内返済予定の長期借入金	8	425
未払費用	2,755	3,014
未払法人税等	4,691	1,076
賞与引当金	665	1,707
役員賞与引当金	77	46
環境対策引当金	266	187
その他	9,531	11,755
流動負債合計	36,792	32,413
固定負債		
長期借入金	16	599
繰延税金負債	85	375
役員退職慰労引当金	119	124
環境対策引当金	49	48
役員株式給付引当金	24	41
退職給付に係る負債	670	739
その他	794	786
固定負債合計	1,760	2,715
負債合計	38,552	35,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,340	2,340
資本剰余金	7,923	7,923
利益剰余金	119,401	127,443
自己株式	△10,858	△10,858
株主資本合計	118,806	126,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	659	1,267
為替換算調整勘定	△2,587	1,216
退職給付に係る調整累計額	△324	△248
その他の包括利益累計額合計	△2,252	2,236
非支配株主持分	1,436	1,968
純資産合計	117,989	131,053
負債純資産合計	156,542	166,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	84,106	88,251
売上原価	40,055	42,084
売上総利益	44,050	46,167
販売費及び一般管理費	28,312	31,340
営業利益	15,737	14,826
営業外収益		
受取利息	206	383
受取配当金	226	308
為替差益	1,806	1,720
その他	206	272
営業外収益合計	2,445	2,685
営業外費用		
支払利息	67	175
その他	36	31
営業外費用合計	104	206
経常利益	18,079	17,305
特別利益		
固定資産売却益	17	47
投資有価証券売却益	-	273
受取補償金	-	197
特別利益合計	17	519
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	43	143
特別損失合計	44	144
税金等調整前四半期純利益	18,052	17,680
法人税等	5,330	5,600
四半期純利益	12,722	12,080
非支配株主に帰属する四半期純利益	118	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,603	11,988

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	12,722	12,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	620
為替換算調整勘定	4,719	3,901
退職給付に係る調整額	△116	76
その他の包括利益合計	4,611	4,598
四半期包括利益	17,334	16,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,084	16,477
非支配株主に係る四半期包括利益	249	200

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社マークスグループ・ホールディングスの株式を取得したため、同社及びその子会社の株式会社マークスを新たに連結の範囲に含めております。なお、2023年3月31日をみなし取得日としており、第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、第2四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	報告セグメント計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	24,027	24,496	20,233	15,347	84,106	—	84,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,937	6	3	—	38,948	△38,948	—
計	62,965	24,503	20,237	15,347	123,054	△38,948	84,106
セグメント利益	16,421	804	1,886	943	20,056	△4,318	15,737

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	報告セグメント計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	27,226	27,022	19,051	14,952	88,251	—	88,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,437	14	0	—	31,452	△31,452	—
計	58,663	27,036	19,051	14,952	119,704	△31,452	88,251
セグメント利益	9,610	628	1,622	749	12,609	2,216	14,826

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、管理体制の変更に伴い報告セグメントの区分方法を見直し、従来「アジア」の区分に含めていた連結子会社であるPilot Pen Australia Pty.Ltd.を「欧州」の区分に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。